



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月7日

上場会社名 株式会社湖池屋
コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3979-2116
(氏名) 小池 孝
(氏名) 藤巻 修道

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	14,764	14.5	1,175	38.7	1,213	37.2	624	11.3
2024年3月期第1四半期	12,899	26.9	847	215.5	884	210.0	560	292.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 779百万円 (13.5%) 2024年3月期第1四半期 686百万円 (130.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	58.53	
2024年3月期第1四半期	52.58	

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	34,418	17,614	50.2
2024年3月期	36,399	17,368	47.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,261百万円 2024年3月期 17,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		100.00	100.00
2025年3月期(予想)		0.00		55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当90円00銭 記念配当10円00銭
- 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2025年3月期(予想)については、株式分割後の内容を記載しております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	7.6	4,000	11.1	3,950	13.2	2,500	13.2	234.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	10,670,000 株	2024年3月期	10,670,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	2,222 株	2024年3月期	2,222 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	10,667,778 株	2024年3月期1Q	10,668,010 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間は、国内においては、前連結会計年度にリニューアルを実施した「湖池屋プライドポテト」を中心に販売が好調でした。また、新機軸商品「ランチパイ」を発売し、市場定着を目指して店頭で最大露出するための活動に注力しております。一方で、原材料費をはじめとする各種製造コストの高騰など、利益が圧迫される要素もありました。その状況下でも売上伸長による利益貢献が上回り、増収増益となりました。

海外においても、各国において着実な売上増加を実現するとともに各種コストコントロールに注力したことで、増収増益となりました。業績は次のとおりです。

売上高は、14,764百万円（前年同期比14.5%増）となりました。利益につきましては、営業利益1,175百万円（前年同期比38.7%増）、経常利益1,213百万円（前年同期比37.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益624百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

<国内>

2025年3月期も引き続き、「高付加価値商品等の継続拡販」「物価高騰対策及び製造体制の強化」「継続的な新機軸商品開発」を、3つの戦略テーマに据え事業展開を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、前連結会計年度に独自製法に磨きをかけ新“やみつきエンドレス製法”に進化した「湖池屋プライドポテト」の販売が大変好調なことに加え、定番商品である「コイケヤポテトチップス」の販売も引き続き好調で、前年を上回る売上となりました。

商品戦略としては、高付加価値ブランドを中心に継続的に新商品を発売し、高付加価値戦略をより加速させる商品フォーメーションを組み立てております。また、新機軸商品による新市場創造へも継続して取り組んでおります。スナック感覚で手軽に食べられる“新しい食の選択肢”として開発した「ランチパイ」では、より多くの方に認知いただけるよう注力しており、売り場作りや多箇所展開の提案をするなど、市場定着を図っております。

一方、歴史的な円安や継続的な物価上昇の影響があるなか、生産・物流の最適化をはじめとしたコスト削減施策を継続しております。

以上のとおり、コスト増加の影響がありながらも売上を大きく拡大した結果、国内の売上高は13,262百万円（前年同期比14.7%増）となり、セグメント利益は911百万円（前年同期比20.9%増）となりました。

<海外>

台湾事業では、ポテトチップスの中でも収益性の高い「PURE POTATO」や「Rich Cut」等を拡販するとともに、収益管理体制を強化し販促費のコントロールを徹底した結果、大幅な増収増益となりました。また、台湾国内産馬鈴薯の安定確保のため、農家との取り組み強化も進めております。

ベトナム事業では、特に輸出事業が大きく拡大しており、売上が大幅に拡大しました。この結果、工場の稼働率が改善し、加えて価格改定や各種コスト削減施策も奏功したことで利益も大幅に改善しております。

タイ事業では、現地流通大手との取り組みの活発化に加えて地方のスーパーや個人商店への販路拡大により、売上を拡大しております。また、現地で販売が好調な「カラムーチョ」のブランド力を活かした収益性の高い「カラムーチョ Corn Snacks」も新たに上市しました。為替変動による原価上昇などの影響を受けたものの、増収増益となっております。

以上により、海外の売上高は1,501百万円（前年同期比12.3%増）となり、セグメント利益は262百万円（前年同期比172.2%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,980百万円減少し、34,418百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（1,241百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（567百万円）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,226百万円減少し、16,804百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（1,079百万円）、返金負債の減少（692百万円）及び賞与引当金の減少（568百万円）によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ245百万円増加し、17,614百万円となり、自己資本比率は50.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,855	5,613
受取手形及び売掛金	11,005	10,438
商品及び製品	1,487	1,672
仕掛品	0	27
原材料及び貯蔵品	1,221	784
有価証券	—	100
その他	637	689
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	21,200	19,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,663	4,607
機械装置及び運搬具 (純額)	5,231	5,211
土地	2,752	2,755
その他 (純額)	200	280
有形固定資産合計	12,848	12,853
無形固定資産		
その他	245	229
無形固定資産合計	245	229
投資その他の資産		
その他	2,105	2,016
投資その他の資産合計	2,105	2,016
固定資産合計	15,199	15,099
資産合計	36,399	34,418
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,207	6,720
短期借入金	500	500
未払金	4,181	3,102
返金負債	2,912	2,220
未払法人税等	896	372
賞与引当金	610	41
役員賞与引当金	—	6
その他	998	1,139
流動負債合計	16,307	14,103
固定負債		
長期借入金	322	216
退職給付に係る負債	1,796	1,802
その他	605	682
固定負債合計	2,724	2,700
負債合計	19,031	16,804

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	12,464	12,555
自己株式	△4	△4
株主資本合計	16,884	16,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	10
為替換算調整勘定	201	262
退職給付に係る調整累計額	10	13
その他の包括利益累計額合計	222	285
非支配株主持分	261	353
純資産合計	17,368	17,614
負債純資産合計	36,399	34,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	12,899	14,764
売上原価	8,918	9,957
売上総利益	3,980	4,807
販売費及び一般管理費	3,132	3,631
営業利益	847	1,175
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	9
持分法による投資利益	0	—
為替差益	9	22
その他	57	6
営業外収益合計	77	40
営業外費用		
支払利息	1	1
持分法による投資損失	—	0
その他	38	1
営業外費用合計	40	3
経常利益	884	1,213
特別損失		
棚卸資産廃棄損	—	272
特別損失合計	—	272
税金等調整前四半期純利益	884	940
法人税等	283	239
四半期純利益	601	701
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	560	624

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	601	701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	79	67
退職給付に係る調整額	5	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	85	78
四半期包括利益	686	779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	635	687
非支配株主に係る四半期包括利益	50	91

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,561	1,337	12,899	—	12,899
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,561	1,337	12,899	—	12,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	45	61	△61	—
計	11,578	1,382	12,960	△61	12,899
セグメント利益	754	96	850	△3	847

(注) 1. セグメント利益の調整額△3百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	13,262	1,501	14,764	—	14,764
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	13,262	1,501	14,764	—	14,764
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	196	215	△215	—
計	13,281	1,698	14,979	△215	14,764
セグメント利益	911	262	1,173	1	1,175

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	313百万円	345百万円